

生協電子マネーポイント

チャージ開始！

「ポイント交換：50ポイント⇒50円」

「ミールプリペイドのプレミア」

などのチャージができる

伊都書店
ビッグさんど
伊都コンビニ店

セルフチャージ機を設置しました。

● 利用ポイントの交換についてご説明いたします。

ポイントがつく対象やポイント付加率は、これまでと変わっていません。ご利用時にカードがリーダーライター（カードを置いていただく装置）に置かれていればポイントは自動で溜まっています。

● ポイントの管理方法が変わりました。

ICカード学生証でのポイント管理に、大学のMIIDカードのポイントの仕組みを使うことが運用開始直前に決まりました。接続レジとのやりとりのスピードアップが見込めるなどメリットがあったため、これまでとは違った管理方法を採用いたしました。

大きな違いは、今までカードのICチップにも記録・保持されていたポイントが、電子マネーサーバーにのみ記録・保持されるようになったことです。そのため、ご利用時に100ポイントカードに溜まった瞬間にレジから加金券が印刷される仕組みや、ご利用レシートに今回ポイントと累計ポイントの印刷が利用できなくなりました。

IC学生証のポイント交換ですが、リーダーライター動作の安定化に優先して取り組んできたこともあり、思いの外開発に時間がかかってしまいましたが、ようやく実用化できました。

貯まったポイントは、お約束通り50ポイント毎に50円プリペイドチャージできるようになっています。また、ミールプリペイドのプレミアが発生した場合も、チャージできます。

まずは、伊都キャンパスから設置を開始し、8月中旬には他キャンパスでも対応できるようになります。伊都キャンパスでは、センター地区は「ビッグさんど」と「伊都書店」、ウエスト地区は「コンビニ店」に設置をします。伊都書店以外は、レジに接続されているリーダーライターをアイドルタイムに利用していただくため、ご利用時間に制限がございます。

秋からは、昭和バスの九大伊都キャンパス⇄学研都市駅（割引回数券で100円の区間）が、生協電子マネーで割引料金で利用できるようになる予定です。同時に後払いによるプリペイドチャージの仕組みについても、8月にご案内ができるよう準備しています。また、利用状況や履歴などがWEBで参照できるサービス実現も、大学で具体的に検討されています。

九大生協のポイント制度

九州大学生協

(1) ポイント制度の目的

ICプリペイドカード(携帯用組合員カード)システムを導入時から、利用者への還元を目的として設けております。全学共通ICカードに生協電子マネーサービスが組み込まれてからも同様のポイント制度は継続しています。

キャッシュレス対応により、昼食時の混雑緩和対策をめざしたことから、組合員のご協力に対する感謝の意味もあります。

(2) ポイント制度の仕組み

生協の取扱商品の中で、商品群毎に利用金額に対するポイントを設定しています。但し、すべての商品分野ではありません。主にキャッシュレスでの利用に対する還元としています。

ポイント交換について、全学共通ICカードと、従来の組合員カードとで若干異なります。いずれの場合も交換率は、1ポイント=1円です。

【携帯用組合員カード】100ポイント目の利用時点で、レジから交換券が自動的に発行されます。この交換券と引き替えて、携帯用組合員カードに100円をプリペイドチャージします。

【全学共通ICカード】50ポイント溜まった時点で、自動的に50円の加金情報が作られます。加金情報は、専用のチャージ機でカードにプリペイドチャージすることができるようになります。

(3) ポイント対象商品とポイント率

ポイントの付く商品分野は、文房具、雑誌、パン・弁当、飲料、食事となっています。ポイントは1回の利用合計額ではなく、**利用商品分野毎**となります。また、ポイントは、**100円単位**で付加されます。例えば、利用分野の合計額が120円の場合は100円に対して、250円の場合は200円に対して、計算されます。但し食堂のライスのみ10円単位となっています。

<ポイントの付く商品分野とポイント率>

- 文房具 0.3ポイント/100円
- 雑誌 0.3ポイント/100円
- パン・弁当 0.3ポイント/100円
- 飲料 0.3ポイント/100円
- 食事 0.5ポイント/100円

※但しライス(単品)は、0.7ポイント/10円 となっています。